

鍋木清方 （1877-1931） 日本畫家。明治十一年八月二十一日東京生れ、昭和  
 四十七年二月一日歿（二七六一一九三）。本名健一。別號夜來亭、溪水、  
 溪水生、象外、清等。明治二十四年水野年方に入門、新聞・雜誌小多  
 く挿畫を描いた池、後年又専ら能くした。大正七年又展無鑑査、帝  
 展審査委員、昭和四年帝國美術院會員、十九年帝室技藝員、二十九年又  
 化動章受章。

著書、尾崎紅葉原著『金色夜叉繪卷』（畫、明治四十五年一月一日春

陽堂）、『百合子畫集』（菊池幽芳合著、大正二年五月二日金色夜叉淵

堂）、『版畫禮讚』（合著・稀書複製會編、大正十四年二月十八日春

陽堂）、『現代美人畫全集』全五卷（松岡映丘、菊池契月共編、昭和六年十月一日  
大田二郎）

十九日一七年四月、千代新聞社）、『風俗畫技法』（昭和十六年七月

八日崇文堂）、『畫人岡田二郎助』（合著・辻大隅為二編、昭和十七年

十一月十五日春陽會）、『清方隨筆選集』（第一卷一（このしかたの）記  
四季のり）草・

昭和十七年十一月八日、第二卷一繪真筈・十八年一月十五日双雅房）、

『通翹』（昭和十八年七月）二十五日京都・大雅堂。2版、二十二年九

月十日京都・共興堂出版部）、『柳小紋』（昭和十八年九月一日臥傍

畫房）、『清方隨筆選集』（昭和十九年九月十五日双雅房）、『天皇

陛下』（合著・文藝春秋編、昭和二十四年十一月十日又藝春秋新社）

等。

